

主編：李鴻鳳、沈友益

中華民國史史料外編

廣西師範大學出版社

廈門大學圖書館珍藏
主編：季嘯風、沈友益

中華民國史史料外編

日文史料
第十二冊

——前日本末次研究所情報資料——

廣西師範大學出版社

上海招商局國營

第三回は必書を求む

三

上海招商局國營

改組斷行後

上毎

招商局の現状

NOV 18 1934 經費節約の跡漸く顯著

上海招商局は、改組断行後、經費節約の跡漸く顯著である。...

是時

是時、招商局の改組断行後、經費節約の跡漸く顯著である。...

外人

外人、招商局の改組断行後、經費節約の跡漸く顯著である。...

航權

航權、招商局の改組断行後、經費節約の跡漸く顯著である。...

南北

南北、招商局の改組断行後、經費節約の跡漸く顯著である。...

王交通部長が

招商局株主を誠告

航權回復は準備を要す

王交通部長が招商局株主を誠告する。航權回復は準備を要す。...

交通部は全國の航政に對して早く統一の計畫を有するは無論である。...

航權

航權、交通部は全國の航政に對して早く統一の計畫を有するは無論である。...

航權

航權、交通部は全國の航政に對して早く統一の計畫を有するは無論である。...

航權

航權、交通部は全國の航政に對して早く統一の計畫を有するは無論である。...

航權

航權、交通部は全國の航政に對して早く統一の計畫を有するは無論である。...

末大研究所

の過渡辦法に過ぎざるも
の政府に於て適當なる計
畫の立ち次第いづれ株主
諸君とは通力合作を以て
共に發展を謀ることとな
るであらう云々

趙總辦の聲明
趙總辦は、本局の組織、業務、財務、人事、設備、その他一切の事項、悉く自ら責任を負ひ、その進捗を監督するものなり。

航權回收の武器として

政府監督下の招商局

111928
上 每
入を計り出づるを制すに努め
債務償還緒に就き積弊改まる
總會は當分開かす

招商局株主の一部に國民政府が監督を施すことを以て、主權を喪失するに過ぎないことを聲明し、在野有給、董康氏等を代表として聲明書を發表させる一方、國民政府に向つて株主總會の組織を要求した所あり、その主張する處は該局の管理全權を再び株主に移し、現在の商有國辦の制度を廢止せよと云ふのである。當時國民政府交通部長王伯群氏は之れに對し、國民政府は目下對外平等條約廢止の交渉を進めつつあり、而して内河航行權問題は交通部として最も力を入れるものであるから、此の際全國航政の要職たる招商局は徹底的整理を敢行し、その準備の列に入れなければならないと説き、又國民政府は五院制度成立したが行政院鐵道部の組織法は未だ正式に公布されてゐないことであるから、孰れその結果に於ては株主に満足を得ることが出来ようとした。その後該局監督趙總辦氏は該局が政府の監督を受けて以來、債務の償還、積弊の廢除、生産の増加及び費用の減少に努めてゐる事實を聲明し、之等株主の如く謂はれない主張をなすものを辯駁した、その内容は下の如きものである。

趙總辦の聲明

招商局は原來國家の官辦機構に
よつて成立したものであるが、久
しきに亘り軍閥の宰割優待下に
處して負債山の如く日に給する
に際あらう破産の危機は瀕した
間に迫つてゐたので、我國民政府
交通部長王伯群氏は斷然たる處
置を執らざるべからず、さし余
に命じて之が整理をなさしめ
るに至つた、而るに改組以來、
債務の償還、積弊の廢除、生産
の増加、消費の減少等々進み
招商局をして鞏固ならしめたる
ことは驚異に對しては勿論、民

衆・株主に對しても自信を有す
るものである
然るに今度株主の代表と自稱す
る在野有給、董康なるもの現はれ
中央五院には申請書を送り、一
各新聞紙上に廣告して上は交通
部を許し、下は財政を攻め、是非
を轉倒し、事實を歪曲する舉に出
てゐる、茲にその言ふ處が捏造
であることを證明するに、
呈請文中用炭の入札に際して
は石炭商と結託して或は價格
を高率にし又は炭質を落し云
々あり

末次研究所

この習慣を矯正するは甚だ陳腐
に屬するもので、余の入局以來は
直ちにこの諸君制度なるものを
廢止し、契約制度に改め、價格に
對して現在月三萬兩を定めて、
つある事實に就て見るも明瞭で
ある、又炭質に就ても嚴重なる
吟味を加へ工業用のものを入れ
させてゐる

往年船舶の修理費用としては七
、八十萬兩が支出されてゐる、
而も各船共に累年大修理を加へ
たことはない有様であつた、故
に之に對してはまづ老船の徹
底修理を加へるべくその方法は
工程委員會に於て修理費の見積
をさせ公開入札を行ひ、平均月
三萬兩年度第三千餘萬兩に過ぎ
なくなつた
其他各船乘組員の俸給に就いて
見るも本年一月の支出が九萬七
千餘元であつたのに八月には七
萬八千餘元に省くを得、年廿萬元
の節約となり、各機關營業收入
は多き時も卅萬兩に過ぎなかつ
たものが、今や四十八萬兩に達し
各船の運賃收入は三月より九月
迄に二百五十二萬兩あり、平均月
收卅四萬兩を算し、平均月卅萬
兩見當に止つてゐたものは今數
萬兩を増加し得た

汪董氏等は自ら株主の代表と稱し速かに株主總會の開催を主張す、但しその發起せられたる株式は總て盛恩齊氏の戸名中にあり而もこの株式は既に江蘇省政府並に上海臨時法院に於て既に株權行使を停止され根本より失効代表たるの資格を失つてあることを暫く論ぜずするも今日を以て株主總會が一株主の手によつて開かれたる例なく、この度の請求を駁する條目の死灰を再燃せしめんとするの舉に等しい

夫れ招商局は中國航業の碩果にして航權の挽回を待つ唯一の工具である、又全國商工海運の命を託するものである。先總辦も航業が民生に巨大なる關係あるを知り實綱第十五條には之を鮮明に規定したのである。余自身の去留に就いては何事問題もない筈で營業方針の根本問題は多數株主が充分に保障しなければならぬ。但し性質を如何に確定すべきは只々政府當局の責任による解決を越くべく局に於て獨斷すべきでもない

18192
査帳拒絶
商當局の

DEC 20 1928
上
趙總辦を二
招商局紛糾
更に株主代表が

(上)

北陸國守主一郎の總督招集、
次沸騰し來つゝあるは、
くであるが、この代表たる
島氏等は該當局に對して、
檢査を要請した處、

招商局民間株主代表袁樹勳、辜鴻銘等
と該局總辦趙鐵樞氏との間の通
電論争は本紙屢報の通りである
が蔣氏等は更に一昨十八日附左
の如き通電を全國官民に發し趙
總辦に對抗の意氣を示した

昨日太要左の如き呈請を閣
民政府主席蔣介石、氏、陳鴻博、
院正副院長、孔工部部長及王
總理長に致した。

招商 局題總辦は去る十一月卅日通電を以て我等に相適された點を極力明白したるは全く事實と符合しないものであるから茲に改めて趙氏通電中に述べる

招請局總辦趙氏は前に我々の
様式を權利喪失したるものと
なし今度は復讐攘斥の要求を
拒絶し、趙氏は幫辦局に服
務し株主に對しては責任者で
ある、政府はこの問題に對し
て相當の處置あるものと考へ
るが、惟ふに趙氏は他人の干
渉を受けず政府の帳簿検査を
も受けざるを希望するもので
ある、而かも我々の正論を反
駁し正々堂々と辯論態度に徹
せざるは恐らし趙氏が舞臺の
查出するを恐れるものである
と想はれるに因らる、此の
際政府に於て遂かに査核委員
會を組織せんとすを希望す

一、趙氏は運賃収入が三月より九月迄に二百五十餘萬兩あり前年に比較するに數百萬兩の増加であると言ふが、之れはまことに虚構たる言草であつて趙氏の所謂二百五十餘萬兩なるものが船客収入を除くぜず且つ亦純收入でもない、全國

統一 成つたこの時、過去に於て平均年純收入三百七十萬乃至五百萬兩あつたと報告書に證明され

と指すの素案は年や推遷され、
経路上の荒蕪にやや振興した。
ある。抑も余が総務局に望願さ
して任命されて以来交通部に歸
屬して在職一日、責許する所な

[illegible]

てゐるものとさうして比較し得ようか、或は近年戦時體制き所有船舶留され航路は非常に梗塞されたから歐戰當時の

十四年に較べて百數次の減少あるは營業上することに潜むべきことではないか、更に重慶鐵路を完全に放棄したのは如何に、而かも漢口鐵路に於ける津漢線を宜昌漢口鐵路に就航せしめたるは如何に、夫々局の損失も甚しい筈であるが、招商局の重慶に於ける通關關税をして口實を設け組織を改選し茲かに資本五萬兩を集めて合組と命名し専ら外國

招商局紛糾愈よ混亂

償還

したと云ふ、而かもこの一面に於て

更に幾多無數の債務を負ふ

た事は事實である、調査する
處によると修理費も、石炭代

も未拂のものありたしきは

而かも收入に至つては船舶

保證金が七八十萬元、久昌の

損益が十五萬元。中國銀湖よ

は何等賠償を異ることなし。

且つ無償を質還したと自ら認

る、誠に困窮を償還した金額は

いづれより來りたるものなる
かを、東より移して西に浦小

西に補乙

償還

何事の變化なきに非ずや、

や、自ら欺し、人を欺し政

同を敵の行爲として怪しむべ

行止ある
ヲレ御木の
地

價はその大多數が新造船の建造、倉庫及碼頭の築造並に年々の修理に使用されたものでありその他は國內戰事により荷主への賠償金支拂に充當されてゐる、我等は敢て趙氏に問ふ

就任 以來新船或は新倉庫、碼頭を築造したりや、果又國內平穩なるに戰事賠償の必要ありたるや、各船の修理は元來各造船所をして投票入札により辦理せられた之れ一は生命關係であり一は保險問題である、然かるに現在該局の工程委員會は悉くもこの形式を執つてゐない、試みに事實を以て之を證すれば最近修理を加へた兩南號は燒成後第一次航海に於て機械に故障があり更に修理を加へ第二次には汽機が破壊して諸感船に救助された、その工事の如何は惟して知るべきではないか、その他天津航路の新銘、新豐も長江航路の江安、江順も皆快速優良航路に列するに十隻、未だ如へざるもの尙ほ十數隻あり、而かも趙氏は老齡船に對しては大修理を加へたと云ふ、徹底的修理を加へたりと稱するものにしてこの有様である以上何を以てか徹底と云ふか、この外各處の碼頭、ライターは如何に、均

王交通部長
招商局
張海陵
DEC 25 1928
スツカリ丁
國民政府交通部次長王
度辭職を決定したが、
によつて已むなく現
ある。但し於近氏の如
消極的となつてある
いことである。而し
激烈となりつつある
と株主間の問題に對
積極的態度に出よう
前週の行政會議に於
の解決を誓つたがそ
商、交通兩部で責難
越すべく決定したに
は之を譲歩し避し事
委せてしまつた、而
題に對する氏の意見
招商局の總辦は勿論
任命し、あるが交通
何等傳傳検査の必要
しく修繕せざるが故に朽壞を
と詰しきに非ずや、船舶の修
理はその入塲期日の早いを以
て得ざる、然るに廣大
廣利、快利、江元、新江元の
各船は入塲のため停船して以
來既に二個月而かも未だ何
等工事を開始することなく徒
らに時日を空費してある、坐
して損失を招くのみではない
か、まづ此に腐化の二字は百
啄するも雖も解く能はざるも
がある

の紛糾
常の必要なし
商部委員
百計氏は一
中央の挽留
職に留つて
態度は極く
は争はれな
て紛糾愈よ
招商局當局
招もせず・
さもせず・
て會つてそ
の結果は工
委員會を組
均らず王氏
ら工部局に
かもこの間
なしては、
交通部から
部としては
を認めない

末次研究所

王交通部長と上

招商局の紛糾

スツカリ工商部委員

國民政府交通部長王伯群氏は一

によつて已むなく現職に留つて
ある。但し最近氏の態度は重く

消極的となつてゐるは争はれな
いことである、而して紛糾を止

激烈となりつつある招商局當局

積極的態度に出ようともせず、

の解決を考つたがその結果は工

交通兩部で真相委員會を組織すべく決定したに拘らず王氏

け之を譲推選し専ら工商部に委せてしまつた、而かもこの間

題に對する氏の意見としては、
招商局の總辦は勿論交通部から

任命し、あるが交通部としては何等帳簿検査の必要を認めない。

世に於て文に巧み愈

に非ずや、船舶の修

入、然るに廣大、

利 江元 新江元
人埜のため停船して以

一二個月而かも未だ何
を開始することなく徒

日を空費してゐる、坐

ここに腐化の二字は百

是も解く能はざるも

更に株主代表が

趙總辦を反駁

DEC 2 21928

上 毎

招商局紛糾愈よ混亂

(下)

五、趙氏は從來の用炭請買制度は弊害であつたことを指摘してある。而かも現在依然として各埠頭の各號と請買制度に等しい用炭の買入をなしつつあるは如何なる事か、從來は一埠頭の用炭請買は一二百噸であつた處が現在は一時期に數萬噸と云ふ巨量を買入れて港頭に於ける、又從來は總ての請買力が全部請買者側の資産であつた處が之れ亦現在では何れから會積み、倉出してから船積み迄局に於て買入してある、如何に炭價が低廉であるからと云へ斯くの如き買入を一計算してみたならば恐らくその事實の存する處を知るを得よう、分置の多寡が炭價の優劣事は各埠頭の請買を以て證明すべく決して反駁に難くはない。

六、趙氏は用炭が月二三萬噸を請買し得たと云ふ、之れは一埠頭に於て最近毎月各船の航航炭が減少し香葉が豊富したことも見る事が出来る、蓋し石炭は各埠頭の食事に等しい燃料であるから一埠多く走ればそれだけ石炭を多量に食ふのは

一定の理である、假りに局の計が一月中に各船天津航路に三回宛航したとすれば則ち合計九十回その用炭が九千リヤンであつたとする、而して二月中この計が各船一回宛より航したと云ふことは必然である、故に用炭費を節省したと云ふことは必然である、然るに前年航路大いに縮小し各船停船した際用炭は減少し又一時は全く無用となつた事を觀れば用炭を節省した事は必ずしも誇り得るものではない。

七、趙氏は利あつて損なきを主張してある、然し營業は若し收入の點をのみ引合せ支出の點を計算しなかつたならば或は現在の帳面上は利益の数字を残すかも知れないが實際上は或は損失となつてゐるかも知れない、故に必ず收支は一々之れを研究してこそ始めて損益の真證を得ることになる、金利還補額の貸出しに際して貸賃の高低を條件としてあるがその裏には當分引上げないとの約束があり而かも三年と云ふ長期限である、この問題は外間非常に疑問を呼んだものである、と同時に招商局半月刊にもこの重要事項を秘して記載しなかつたことは最も誤解を招き易い、我等は一日も早くこれが契約書の内容を公表して一般の了解を得んことを切望するものである、之れを總するに招商局の腐敗は由来既に久し、我等株主の苦心も別に今日に始まつたものでもない、又趙氏に對して特に反對するものでもない、然し當に調政開始し建設の機至り百業正軌に復せんとする時獨り招商局のみは株の要求を退け且つ趙氏は政府をも欺惑せんとしてゐるのである、事茲に至つた以上我等は速かに查帳委員會を組織して徹底的整理をなし真相を明にし一方株主總會を招集して整理の方法を議し根本の解決あるべきを請ひ求むるものである完

政府ももて餘す

招商局の解決問題

FEB 26 1929

上 毎

帳簿の整理は大体出來たが主管機關の改否は相當面倒

招商局の問題に關しては國民政府も全くもて餘しの状態である、將來若し之れが解決の方法を決定するものとするれば、一、帳簿整理問題、二、主管機關問題の二部に分れるであらう、而して第一の問題に就いては既報の通り工商、交通兩部及審計院から調査員が派遣され目下大體に

調査その結果を經た模様でその報告により或は解決の端緒を得るかも知れないが第二の問題は現在の交通部から改組するや否やが相當面倒で國民政府内部はかりでなくその他種々の方面とも關係あり第一がたゞへ片付いたとしても第二の問題で容易に解決難であらうと見られてゐる

整理一段落と

招商局の今後

具體化した發展計畫

JUL 1 21929

上 毎

趙鐵橋氏談

招商局は中國唯一の航政機關であるが歴年來を失し債務山積の状態である、國民政府交通部は

昨年三月趙鐵橋氏を總辦とし管理の責を負はしめて以來、整理日に漸く端緒を得るに至つた

趙鐵橋氏は一箇年來の整理經過を述べた後、及ぼす將來の發展に關して次の如く語る

一、帳簿整理經過

昨年三月余が政府の命令を奉じ招商局の整理を引繼いだ當時一般株主の統一はな、事務は散漫され、故に余が整理して後始めの程は相當手酷しく整理進行に當つたので局長

末次研究所

整理一段落と

招商局の今後

具體化した發展計畫

趙鐵橋氏談

JUL 18 1929

招商局は、整理一段落となり、今後は發展の途程に立つた。整理の間に、局の負債は、五萬兩に減つた。これは、局の不動産を賣却して、その利益を充てたものである。整理の間に、局の負債は、五萬兩に減つた。これは、局の不動産を賣却して、その利益を充てたものである。整理の間に、局の負債は、五萬兩に減つた。これは、局の不動産を賣却して、その利益を充てたものである。

一、現在狀況

本局の病状は、入り百廢舉らず、新制度の完全を期するに於て、整理の時日を必要とする。整理の時日を必要とする。整理の時日を必要とする。整理の時日を必要とする。整理の時日を必要とする。

二、發表計畫

局務發展問題は、余の計畫した。局務發展問題は、余の計畫した。局務發展問題は、余の計畫した。局務發展問題は、余の計畫した。局務發展問題は、余の計畫した。

本局の病状は、入り百廢舉らず、新制度の完全を期するに於て、整理の時日を必要とする。整理の時日を必要とする。整理の時日を必要とする。整理の時日を必要とする。整理の時日を必要とする。

第一、土地家屋整理。第二、新航路の増設。第三、船舶の増設。第四、管理の改革。第五、直接購置。第六、自辦修理。第七、保險部設立。第八、旅務部設立。第九、旅務部設立。第十、旅務部設立。

一、整頓經過

昨年三月、余が政府の命令を奉じ、招商局の整理を引継いだ。當時、一般株主の統一は、全く事務は煩雑なもので、余が引継いだ。

本局の病状は、入り百廢舉らず、新制度の完全を期するに於て、整理の時日を必要とする。整理の時日を必要とする。整理の時日を必要とする。整理の時日を必要とする。整理の時日を必要とする。

招商局は、整理一段落となり、今後は發展の途程に立つた。整理の間に、局の負債は、五萬兩に減つた。これは、局の不動産を賣却して、その利益を充てたものである。整理の間に、局の負債は、五萬兩に減つた。これは、局の不動産を賣却して、その利益を充てたものである。

華商汽船の沈没、同業者の運賃競争等で経営極く困難であつた、只幾個月によつて事務の方面は漸く統一ある活動なすを得るに至つたことはせめてもの慰みであらう

一、現在状況

本局の病害に入り首を擧らず、新制度の完全を期するには相當の時日を必要とする譯であるが幸にして幾時年を経て漸くその緒に就き聊か應用に堪ふることとなつた、今後は一々實行することになるが會計と文書の工項は最も重大なる關係あるを以て既に新方策を實施することになつた、職員

る有様である故に根本整理計畫が未だ決定しない、前は新發展の方法を計らざれば本局の危亡に關するばかりか中國航業の破産であり航權回收などは到底望まれぬ

三、發表計畫

局務發展問題は余の計畫しなければならぬものであるが余は三つの期に分つて進行せんとする、
一、整頓期——内政を革新し維持を求む
二、補充期——新業を舉辦し損失を免る
三、擴張期——營業上の軌道に於て利益を得る
而して三個の時期中更にこれを七個の進行順序を定む

百六十三萬五千兩の豫算である
第三——債務の償還
内外債は滙豐、花旗兩行を始めとし中國銀行、農民銀行、千禧兩行であるが不動產処分によつて得る金を以て償還す

第四——管理の改革

委員會による最高機關を組織し監督評議を設け、設計の兩端から分立し總辦を設けて執行の責を負はしめ、用人の管理は責任制度を徹底的改革、科學方法を採申す
第五——直接購置
自家用炭、煤、二隻を以て絶えず炭坑との連絡をとる、又直接海外から航業材料の輸入契約をなす
第六——自辦修造
機器上機の設備を擴張しドックを新設して造船も亦自辦の準備をなす
第七——保險部設立
本局の船體保險、旅客貨物の海上保險及び其他會社の申込を受付け、これらに計畫は既に交通部に呈請してあるから三箇年以内に完全に實現せんとするものである

商招局行詰る

趙總辦は遂に投出し
整理委員に虞氏等任命

古い歴史をもつてゐる支那第一の汽船會社招商局はその經營宜しきを得ず整理すら殆んど困難なりとされ、然るが、これが整理の任務を帯び昨年二月同局總辦となつた趙總辦は十七日附蔣主席並に交通部長王伯群氏あて辭表を提出し、右は招商局が彼の就任以來改善せられず従来の民衆時代の情實に加ふるに國民政府はしばしば軍事行動にその所有船を徵發使用するの、本年のごとき數十萬の收入不足となつてゐる折柄突然同局が國民政府の直轄下にたちその整理委員として虞卿治氏ら九名が任命せられたとの報道がある爲である虞氏は競争會社たる三北汽船の總辦で支那海運界に雄飛する人物であり上海財界の大立者である、同氏がいふ「乗り出すとすれば」

本ノ三菱と共同とが合議して郵船となつた故事に依り招商局 三北兩會社の合併に至らずやと観測する向もあり、國權恢復の一の目標たる内河航行商運を控へて國民政府苦悶の現はれとして注目し値する、これにつき招商局總辦は語る

自分はさきに第二次中央全體會議において政府が特派員をおこして債務を整理すべきである、進退を伺つたがいふ、何卒の返答に接しない、形勢は日増しに困難となり余をもつては今はや如何ともしがた、招商局經營の最も困難なる點は官營民營のどつちつかの點にある、民間株主は民營を望んでをり政府は官營を望んでをりしてゐる、余の意見は政府が非して民衆株主がこれに參加するやうにすればよいと思ふが政府は余の意見に對して明確な意思表示をし

このため、今年も同様なる結果になつて、郵政の困難が甚じらるゝ。招商局は、この困難を解決して、郵政の健全なる発展を期す。このため、郵政の進行に影響を及ぼす一切の困難を排除し、郵政の健全なる発展を期す。このため、郵政の進行に影響を及ぼす一切の困難を排除し、郵政の健全なる発展を期す。

招商局倉庫業務成績頗る良好

招商局の倉庫業務は、前年度を基として、更に一歩進歩した。これは、招商局の倉庫業務は、前年度を基として、更に一歩進歩した。これは、招商局の倉庫業務は、前年度を基として、更に一歩進歩した。

坐ながら

没落を見るのみだ

招商局の事業改良を
上 郵 工商交通兩部が提案

南京廿八日（廿九日）上 郵 工商交通兩部が提案。招商局の事業改良を、上 郵 工商交通兩部が提案。招商局の事業改良を、上 郵 工商交通兩部が提案。

招商局は、数次に亘り整理を施せるも、弊弊は依然として除去されず、また用人も不適当なため、人事費莫大なる額に上るも何等成績の見えきものがない。且つ、總辦趙君に具體的整理方策なく、従業員は困窮を事とし、このまゝ放任する時は益々事業の不振を招き、遂に政府を待つのみである。よつて政府は、該局管理職の組織を徹底的に刷新し、弊弊を根絶して、該局の徹底的改革を促せられんことを望む。

上海間航路 招商局船舶

上海の營口派商人よりの

日本派船排斥の要求に基き

昨年官費を充てた支那招商局。上海の營口派商人よりの日本派船排斥の要求に基き、日本派船排斥の要求に基き、日本派船排斥の要求に基き。

本 次 研 究 所

相當の補助に耐えるものである。ある資金に於ては、革命精神に基き、之れに費成され、利権の回收と中國の經濟に努力せられたし。

と大要の如き決議を、政府して、来たので、營口總商會でも三月廿日、全埠各界の同業公會成立大會の席上で協議の結果一致協力之れを援助することに決定し、招商局船舶の就船となつたのである。

然して之れが實地の曉解想される事は、既に北奉鐵路局が開港線終點と、同様に海陸運送線と、同様に北奉局と、東四路並に西四路各線より上海又は青島總運貨物に對し、招商局との間に運送運轉の協定である之は、至關關係より見ても、招商局が官費である以上、推察しても充分の可能であるものと云はねばならぬ。今、この問題は、大派船排斥の要求に對し、招商局は相當なるものありとし、且つ、政府は頗る注意されてゐる。

AUG 31 1930

招商局京津

後任總辦

虞洽卿氏が

い、九月、第二通一
招商局總辦は張季直
氏辭退したため、後任
總辦として、前次が
近江航路開闢の立
者、虞洽卿氏を推薦す
る運動盛んになつて
来た

政府で經營

支那招商局

京 津

南京二十三日發聯合一令
の中央執行委員會は招商局を
政府で管理經營する事を決定
した

OCT 25 1930

NOV 16 1930

招商局の發展

南亞航路開始か

此等の如く、招商局の國民政
府の經營に移されるか否か、
其他招商局將來の問題に關して
は目下南京に開會中の中央執
行委員會第四次
全體會議に於て討議
決定されることになつてゐる
が、今同局今後の發展策に
就て中國側の消息に據れば

新たに増設資金として銀行
千五百萬元を作り其大部分
を投じて、鐵道十五隻を新造
し、民國と南亞航路間に航
路を開闢する筈で、其目的は
南亞航路に在在する船舶
が一百餘人に上つてゐる

係上毎年移しき船隻を外國
汽船會社に任せられ、かつある
事情故これを民國經營の汽
船に改めんとする次第であ
る、而して上記の資金にて
不足の分はチャーターして

間に含せる筈で新船の建造
と同時に舊船を政府に移し
今後時局に依る發展を免れ
しむる方針だと言はれてゐ
る

而して右の計畫は必然中國が
東に於ける各國海運界激甚
なる
競争場裡へ乗出すこ
ととなるべく、果して如何の
程度にまで中國船の活躍を見
るに到るか相當注意を以て迎
へられてゐる

世界海運界の不況時代に直面
して國民政府は海運發展を計
畫し、既に昨秋、中國唯一の半
官半民汽船會社たる招商局船
船公司の國營事業輸入を發表
し、着々之が具體的方策を講
めてゐるが、今同國民政府は
右招商局を國營とする以上は
中國唯一の船舶局と爲すに在
りとし、基本金千五百萬元（三
百萬元は該局にて調達し、他は
政府より補助を受く）を以て
新たに船舶十五隻を購入し

JAN 28 1931

支那國民政府の

海運發展政策

招商局を國營とし

南洋航路と長江航路

として、經費二十萬元を以て
南洋航路を開闢す
二、長江航路の挽回
揚子江は中國内河航路中最
も有利なるも、中國船は國
際的に依り居る船を運送せら
れ、目下招商局三隻、三北公
司二隻を配船し居る程度な
るが、之が挽回の爲め、先づ
昌重慶間の船舶は專ら宜昌
の川江航業聯合會に委任す
る事を協定し、上海漢口間の
貨客は專ら招商局にて運送
し、隨時直航船を添す

一、南洋航路の開設
南洋方面に在在する中國人
旅客及び船貨は頗る多額な
るものあるに拘らず、同方面
行中國船なき爲め悉く外國
商船に依り居るを遺憾なり
とし、同局業務擴張の第一歩

末次研究所

△△△△△△△△△△ 招商局の國營問題

NOV 15 1932
京 津
或は意外な紛糾來す
前總裁の借款問題から

上海十一日發、招商局は國營なるに此事は不法なもので政
と決定したが其後左記の事件、府では目下是が地位に就て考
慮發生した爲め同局國營問題、慮中であるが一方米商中國營
は又復紛糾すべく豫想されて、米公司は十一日午後
る、即ち前招商局總裁

李國杰が、九月中からの倉庫と碼頭引取の手續を完
局所有碼頭及び倉庫五個所了した、仍ち右の借款問題の
を擔保として米商中國營業公爲め政府と米商との間に西大
司から巨額の借款を起すべくな競争事件が持上り從て其結
折衝中であつたところ同局の果如何では招商局國營問題の
國營が決定されたので急遽米運命を左右するに到る可く、
商との契約を成立せしめたが、前總裁李國杰は非常な窮境に
其金額は千五百萬元である、起つて居る。

招商局の借款と

1932 前總裁の辯明

NOV 15 1932
京 津
國營に絶對反對し
行政院宛に建言の電報

南京十二日發、招商局前總裁任同居總裁劉鴻生よりの急員
李國杰が招商局が國營に決定に接して後部員を上海に派し
された後同局所屬の倉庫と碼頭を實情を調査せしめつゝある
頭を擔保に米國が、此事たるや國家の主權に
一商事會社から千五百重大關係を有するものと認め
萬元を借款し調印まで畢つたで徹底的に調査を進め斷然た
件に關し米家交通部長は新る處置を採る決心であると謂

招商局の發展

JUL 11 1933
京 津
南洋、長江航路に配船
英支庚款を借款

南京八日發、(路透)交通部のすることになつたと謂つた、
一代前署は招商局船舶會社は、此中の二隻は支那南洋間の航
最近英國團團賠償金管理委員、路に、四隻は揚子江航路に用
會の許可を得て該賠償金を以、ひらるゝのである、交通部は
て英國より六隻の自船を購入、專門家を英國に派遣して其建

貳千萬元を突破

1933 招商局の債務

OCT 19 1933
破産に陥るの危険あり
監理事更迭行はる

招商局が其財政上の困窮を切
抜け營業上の不振を挽回する
爲め最近更に銀壹千貳百萬
元の借款を興して内外各航路
の擴張を圖つて居ることは既
報の如くであるが、今朝の漢
字紙に據れば同局は更に其財
政的に大刷新を加へること
となり政府當局と協議の結果
昨十七日監事及び理事十人の
更迭を行つた、即ち交通部か
ら高廷梓を派遣して監理事の
一部分を罷免し新に

△監事として盧學溥、胡孟嘉
黄金榮、榮宗敬

末次研究所

道を監督せしむる窮である
南京九日發、招商局は日支
時局の安定回復と共に航次
營業の良好化を示して居る
が、同局では英支庚款管理
委員會から銀二百四十萬元
を借款して新航路を開拓す
ることとなり、先づ英國か
ら汽船兩隻を購入して南洋
航路及び長江航路の擴張を
圖る計劃であると謂ふ

△監事として史量才、張謇、
楊志雄、杜月笙、李復新、
盛錦臣

招商局は最近非常な疲弊狀
態に陥り、今年六月末現在
迄の負債數に銀貳千壹百萬
元に達し、速かに是が整理
救済を圖らなければ遂に破
産するの恐れがある、仍ち
今回更迭して監理事を更迭
して債務の整理を行はしめ
ることとなつたのである

MAR 20 1934

フアシスト大會でム首相

伊太利の亞細亞進出を強調

但、領土的征服を意味するもので無い

京津

聯盟改造問題にも言及

羅馬十八日「聯合」ムソリーニ首相は十八日羅馬に於て開かれた五年毎のフアシスト大會第二回會合に臨み早朝四時から喇叭の音に迎はれて種々聯合した七千のフアシスト黨員を前に一大熱帯を振ひ熱狂的な喝采を博した。ム首相は先づ伊太利がアフリカ及びアジアに進出する必要を強調し此の發展に他國の容喙を許さざる旨をほめかし次いでオーストリア問題、聯盟改造問題に言及し軍縮問題先決の必要を力説して多大の注目を惹いた。ム首相は曰く

我々はアフリカに進出すると共にアジア大陸とも協力する必要がある。兩大陸は共に我國より海路數日間路程ならば更に短時間で到達し得られるところであり我々の發展には絶好の天地である。然しこれは領土的征服を意味するものではなく我國の自然的發展をあり引いてアフリカ並に東方諸民族と伊太利國民との協力を招致するものである。次に伊太利は國際聯盟の改造を提議したがこれに關しては各國が局勢打開に努めてゐる軍縮會議が終結する迄待ち得るものであると思ふ。何故なれば若し軍縮會議が失敗に終ればもはや聯盟改造等の必要なくその勢力失墜を記録するだけで充分だからだ。

民間航運を整理

招商局強化を圖る

海運國營一元化を目指し 最後は外國汽船へ對抗

上海來電によれば招商局の改組は中國の民間海運の整理は交通部が最も力をこめてゐる處であるが、最近招商局において民間海運界の各方面代表五十餘名に、交通部代理部長俞飛鵬氏がわざわざ南京から來京し中國で最初といふべき海運會議を開催し、各種對策を討議した。討議の内容はいかにして海運界を發展させるかと云ふにあり是に就ては過去の民間海運業者がやつた様に其喰ひを續けてゐたのでは進歩の餘地がないから連絡統制をとつて國家的見地から海運發展を圖るべき必要があるといふのを基礎として民間航運會社の登記各會社間の航路限定、民航合作制度の改善等の各項に及んでゐる。特に今後は外國から購入する場合にも舊船を購入すべからず、すべて新船とすべし等の點について俞代理部長が強調したとの事である。招商局は別として民間海運業者が新船を購入する如きは事實上不可能の不況状態にある。たゞ招商局のみは先に發表された様に、内河沿岸、南洋等の航路に使用すべき大小新船十數隻を購入する豫定であるといひ、交通部もこれを支持してゐるが、この海運會議を轉機として、民間海運を整理の名によつて實際上には招商局一本で中國海運業の隆盛を期せんとする意圖で、結局遠からざる將來に民間海運業者を合併或いは買収し半官營の招商局顧客整備にまで進むものと注目されてゐる。この統制意圖を實現するまでにはなほ幾多の曲折はあらうが、これによつて日本、英國等の中國における海運業に漸次對抗せんとする第一段の工作として國內民營海運の整理統制は特種の意味を持つてゐるが如くである。

五萬人を裁兵

來月中に第二次

上毎裁兵の完成豫定

南京一日遼東方期正時は、日中央に電報を寄せ、彼の忠告に依り、三氏の間に申し合はせた方針に基き、第一、官報告して来た。

河南を中心とする

SEP-5 1928

馮玉祥氏の南北縦斷

山東、陝西、甘肅に勢力を扶殖し、
反馮軍に備ふ上、毎

天津三日發東方王爺氏より
撤退命令を受けた天津開道治
に勢力の扶植を圖ると共に山西
綏遠の回復軍五万は三日より
河南の鄭州に向け進退を開始
戦より自派の勢力を以て帝國
を南北に縦断せんとする意圖よ
り出たものとして重々觀されて
居る

馮氏の勢力を中心に

最近支那政局の動き

SEP 15 1928

北
京

南北支那を遊歴、歸來せる

某要人の時局談

數個月に亘つて親しく南北支那を遊歴して最近歸來せる某要人は往訪の記者に對して左の如き興味ある談話を試みた(北京十三日東方消息)。

内亂から

政争の舞台へ

北伐成功の結果支那は大ては山西に對し二三に止ら
體に於て統一の緒に就いた。經濟から不快の念を抱き
今日にあつても南北各觀察 居り滿洲の關係相當深刻な

點を異にする丈で既に時局を観念にも其の趣を異にしてゐる即ち北方側から見れば直隸安福奉天各派は概して現在の革命政府の存在を好まず絶えず之れが破壊に力めてゐる彼等は何れも南方を觀るに當つて常に南方の缺點のみに注意し些の間隙を捕へては縱横の策動をなし挑發的運動を企圖しつゝあるのである勿論革命軍内點を異にするものあるは事實であり又誠する事は即ち彼等の存在觀念にも其の趣を異にしてゐる即ち北方側から見れば直隸安福奉天各派は概して現在の革命政府の存在を好まず絶えず之れが破壊に力めてゐる彼等は何れも南方を觀るに當つて常に南方の缺點のみに注意し些の間隙を捕へては縱横の策動をなし挑發的運動を企圖しつゝあるのである勿論革命軍内

勢力進出

を圖る馮玉祥

彼等の唯一の看板であつて、今回の第五次全国會議はこの看板たる國民政府が消完全に出來ねばならぬとの

末次研究所

觀方で見れば勿論不成功ではあつたが然し久しく混亂に混亂を重ねて來た友那が會議によりて國家の統治問題が議せられるのだと云ふ觀方を以てすれば第五次全體會議はまあよくあれ迄やつて除けたと云ふ事になつて其の意味からは先づ一大成功と云はなければならぬ、實際第五次全體會議を主になつて奔走したのは蔣介石派と馮玉祥派であつたのだが蔣介石氏としては今日迄國民政府を手耳つて北伐事業を進めて來た關係上會議を成功させなければ直ちに蔣介石自身の政治的生命を失ふ譯けであつたし又馮玉祥氏としては現在既に實力の點に於ては本那部に於て彼の右に出る者なく然然優越の地位に存するが然し國民黨内には勢力を持つて居ない勿論王正廷蔣介石張作良氏等が國民政府の椅子を占めてはゐるが尙數々たるもので馮玉祥氏としては自己の勢力を國民黨内に發展せしむるは國民黨を握る必要ありそれが爲めに

南京に於る

馮玉祥の活動

馮玉祥氏は第五次全體會議成立に奔走したが國民黨の勢力を握る爲めには規則に従はねばならぬと云ふので會議には出席しなかつたが各方面との聯絡青年との接觸には非常な勢力を拂ひ南京滞在の中は殆んど連日講演の日を過した次第であつた馮玉祥氏の南京行きが若し軍費捻出或は裁兵の爲めのみであつたとしたならば馮氏は大いに不平を抱いて河南に歸つたであらうが然しその目的が國民黨内に勢力把握の爲めであつたとしてれば彼は今回の南京行きによつて非常な効果を納め得たのは明かである蔣介石李宗仁其他國民政府の各要人全部が上海に趣き不在となつた後も馮玉祥氏は獨り南京に残つて依然各方面で

講演を試みてゐた蔣介石氏等各要人達が當分南京せぬと見て取つたので精銳を送ける必要から突如河南に歸つたのが真相である

意思疏通に

成功せる

北平巨頭會議

北京巨頭會議開催時は馮玉祥氏系と蔣介石派と張作良氏と蔣介石派が北伐したのとは所謂廣西派が北伐に比較的功勞がなかつたから殘敵の討伐に當らせ幾分の功を建てさせようとの意圖もなきにしろあらうであつたであらう當時馮玉祥氏北に於ける關係は蔣介石の實力の合計は馮玉祥氏廣西派聯絡は王正廷蔣介石張作良氏等が國民黨を北上せしめて北軍の討伐に次で起るべしと見へた革命軍内部の紛争は開錫山蔣介石對馮玉祥白崇禧の實力のバランスが取れた事と更に去年の戦に疲勞の極に到した一航人民の輿論が局面を押へた事

末次研究所

と相待つて要慮された危機も事なく去つて統一の緒に就くを得たのである北京會議の主なる事項は兵力地盤軍費財政關係にあつたが要するに目的は各巨頭間の意見の疏通に於て成功を納めたものであつた

地方分權を

主張せる

廣西派の立場

第五次全體會議は畢竟するに中央集權と地方分權の争ひであつた既に統一の緒に就いた南京政府としては漸次中央集權に向つて進むのが理の當然であるが然しそれには地方の實力者殊に政治的手腕なき實力者側は廣西派の如きは中央集權の結果は政治的地位の一落千丈を見る譯けだから將來の地位保持の爲めにも現在の政治分會の存在は擁護しなければならなかつたのも無理はないとも云へる

全體會議で

目 要

暴露せる

國民黨の欠點

北京五頭會議第五次全體會議を通じて一つの缺點を暴露した即ち彼等は革命の完成をのみ唱へて其後の善後措置に就ては何等の準備をもしてゐなかつたのである三民主義方針のみを持つて爲政者とした最も必要ない具體的辦法を研究して備へなかつた爲め各種の案を出しても何れも假作りの者のみで缺點だらけで結局北京會議も第五次全體會議もうまく行かなかつたのである

蔣馮兩派の提携

廣西派の苦悶

反馮陰謀も美事失敗

第五次全體會議は立場を異にしながらも成立せようとする點で一致して蔣介石と馮玉祥氏の努力と戦に飽き革命政府に望みを屬し安定を求めんとする一般の空氣とに依つて成立したのだが其の結果蔣介石と馮玉祥の關係接近となり北京會議當時の勢力關係を一變して蔣馮二勢力が支那東部を支へるに至つた廣西派が

河南の亂

馮玉祥軍は直隸の所屬基

本軍及各種の勞系軍から成

つてゐるが其内國民黨間に

最も勢力を有するものは于右

仁を首領とする陝西派であ

る爲め馮玉祥軍從來陰に陽

に陝西派の武力に對し支持

の態度を持して來た今回の

如きも岳維峻が武漢と氣脈

を通じたのは前述の如くで

あり岳維峻は三個の武力で

馮玉祥與新田李虎臣を動し

有利に展開するを待つて進

まんとしたので氏の如き行

動は今度で前後二回目であ

るが岳維峻を討つ事によつ

て陝西派が自己を離れる虞

れある爲め殊更抱擁の態度

文武兩派の

感情調和

が今後の要諦

第五次全體會議前後に於て最も注目すべきは現在の實力派を發言權は與へないが出席に許すとか會議前に巨頭の集合等を開いて彼等の意見を尊重する等に依つて割合に抱擁して來た事である尙文武の風習の最も甚しい支那に於て今後この風習は漸次表面化して來るであらうか將來南京政府がその基礎が固まる迄で革命に功勞あつた武官を如何に抱擁して行くかは極めて重大な問題であるとの意味で今回の第五次全體會議は稍成功に云々と云へる明治維新の偉業正に完全ならんとした際起つた西南の役は表面の原因は征韓論であつたが實際は文官抬頭武官失落の結果により武官巨頭西郷隆盛と文官の巨頭大久保利通の感情の爆發に他なら